

経営比較分析表（令和5年度決算）

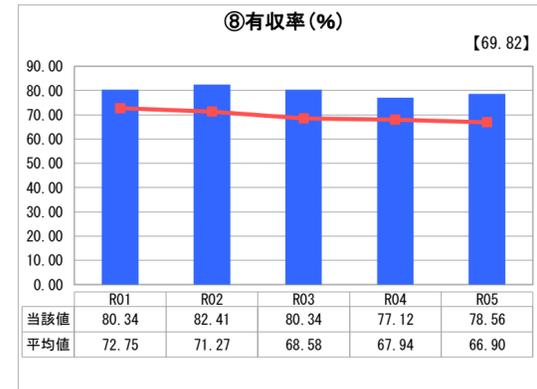
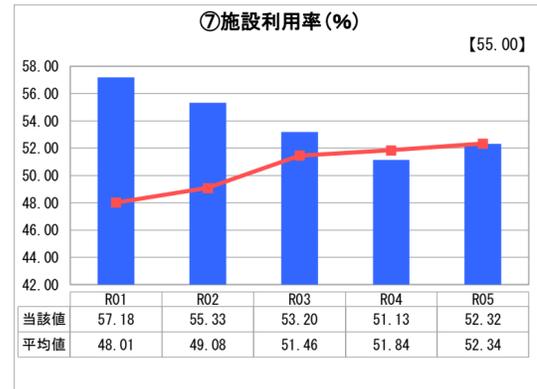
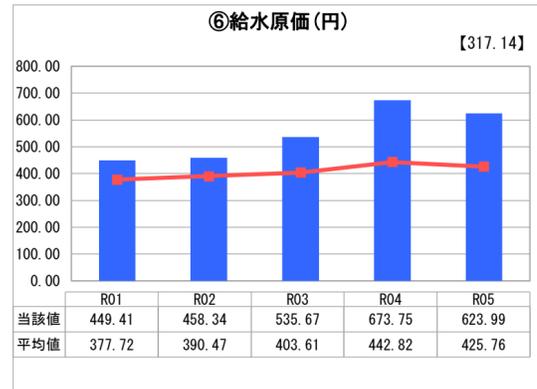
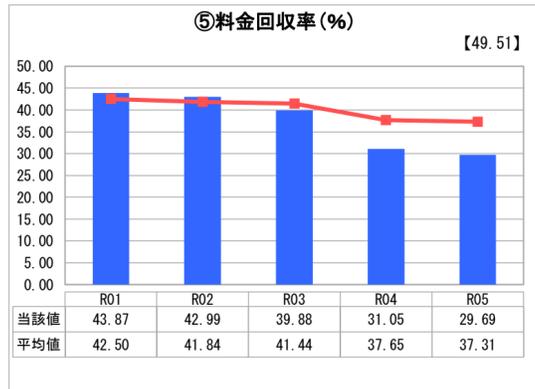
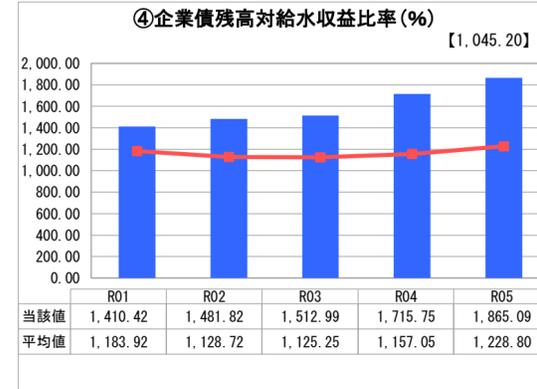
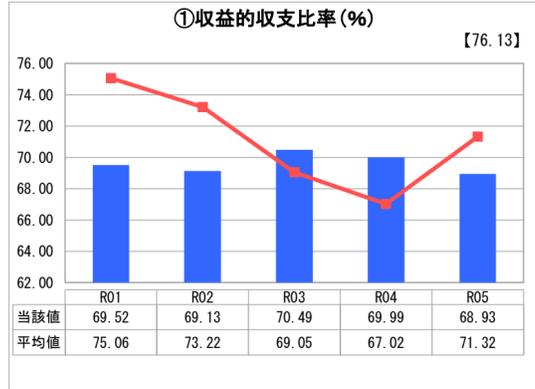
北海道 中川町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D4 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 98.68 | 4,639 | |

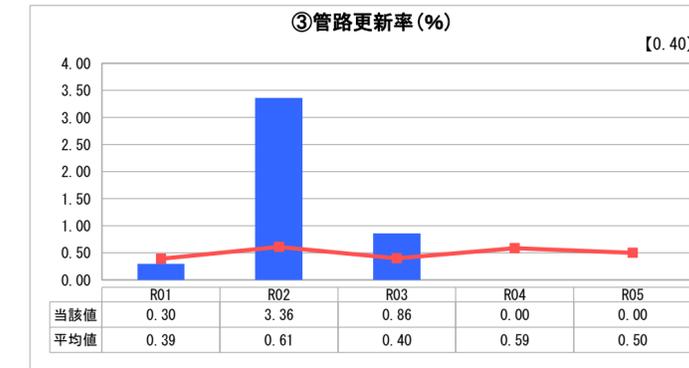
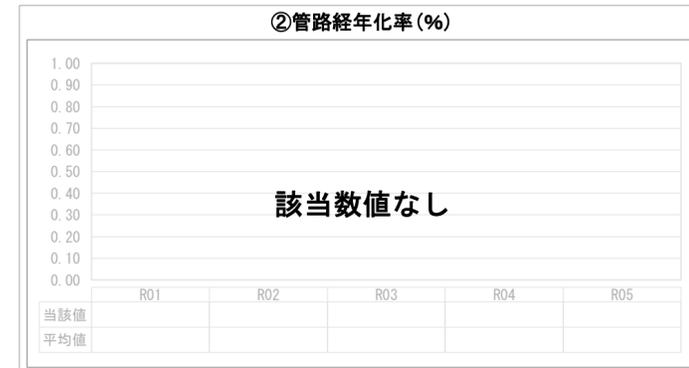
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 1,304 | 594.74 | 2.19 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 1,269 | 7.50 | 169.20 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和5年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の簡易水道事業は、類似団体平均と比較すると、令和5年度の料金回収率は平均を下回り、さらに、類似団体平均値も下回っている状況にある。これは、料金改定を行っても人口減少や節水等により、給水収益の増収があまり見込めないため、収益的収支比率は過去5年と比較すると平均を下回っており、改善されない状況にある。経費回収率が100%未満であることから、使用料の見直しに向けた検討が必要である。

2. 老朽化の状況について

管路については、耐震化管路の更新により、年次計画により更新をしている。経過年数及び財源の確保なども視野に入れ、今後の更新を計画していく必要がある。

全体総括

本町は令和3年度に料金改定を行い給水収益の増収を図ったが、人口減少が進む中で使用料収入の増加が見込めない状況であり、一般会計からの多額の繰入により運営している状況にある。有収率の向上に努めるとともに維持管理のあり方などを見直し、将来に向けた経営の見直しをしていく必要がある。